

# 平成20年度 厚生労働科学研究費補助金 地域医療基盤開発推進研究事業

## 皮膚・排泄ケア認定看護師による高度創傷管理技術を用いた重症褥瘡発生の防止に関する研究

主任研究者	真田弘美(東京大学教授)	創傷看護学)
共同研究者	須釜淳子(金沢大学教授)	臨床実践看護学)
	宮地良樹(京都大学教授)	皮膚科学)
	館 正弘(東北大学教授)	形成外科学)
	松山 裕(東京大学准教授)	疫学・生物統計学)

# WOC看護師への高度創傷管理技術教育

## 目的

裁量を拡大することで、褥瘡の重症化を低下させ、治癒の促進、更に患者QOLを向上させ、医療コストを減少させること

## 研究1:教育の構築と実施 平成20年3月～平成21年5月

1. 褥瘡重症化予防管理プロトコール作成

2. 教育プログラム実施

3. 教育の評価

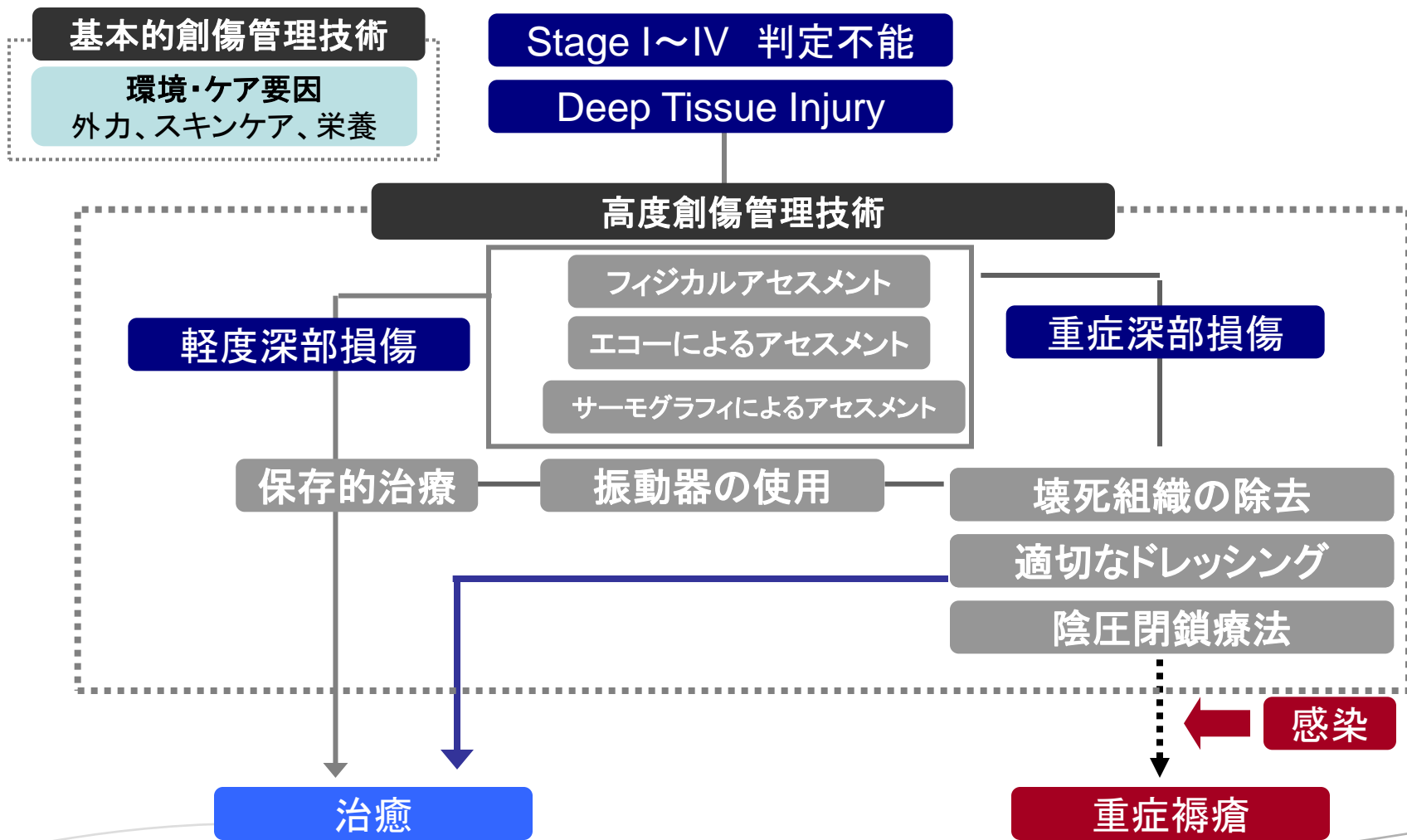
## 研究2:高度創傷管理技術教育の有効性を費用対効果で証明

データ収集 平成21年7月～10月

高度創傷管理技術教育受講有無による非ランダム化臨床比較試験

# 褥瘡重症化予防プロトコルの作成

侵襲を最小限に抑え、安全に、そして患者の苦痛なく



# 教育プログラムの実施ーカリキュラムの作成ー

## 95時間5単位(講義35、演習・実習60)

方法: エビデンスのある技術の中から、医師、看護師からなる  
エキスパートの意見を集約し抽出

参考: 皮膚・排泄ケア認定看護師教育カリキュラム  
米国WOCNカリキュラム  
米国デブリードメント資格講習会カリキュラム  
米国Advanced Practice Nurseカリキュラム

	授業科目	時間	単位
専門科目	アドバンス創傷アセスメント(エコー、サーモ)	12	3
	創傷デブリードマン技術	12	
	陰圧閉鎖療法	7.5	
	創傷被覆材(ドレッシング材)の選択技術	7.5	
	振動器の使用技術	2	
共通	医療安全	4	
	演習・実習(データ収集)	60	2

# デブリードメントとドレッシング法



密着した壊死組織を出血しない程度に  
毎日少しずつ除去していく

D3-e3s6i0G5N3p0:17



D3-e3S6i0e1n0p0:10  
踵褥瘡の洗浄と保湿

ドレッシング材の選択と  
貼付技術

20日後に治癒  
再発防止のスキンケア 35